

資料館だより

No.16
2008年
1月号

過去と未来がひびきあう

—ようこそ、エコミューズへ。

www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら財団附属
エコミューズ

エコミューズ

2008年もよろしくお祈りします！

おかげさまで、エコミューズは2008年3月に2周年を迎えます。振り返れば、2007年はロゴマークとリーフレットの作成、活動報告書[第1号]の発行、歴史めぐりの開催、各地からの見学受入、活動資金「ハモン基金」の設置など、いろいろなことがありました。少しずつではありますが、資料の利用、見学や視察の受入が増えてきています。

みなさんが来館していただくことで、エコミューズは成長していくことができます。どうぞ本年もよろしくお祈りいたします。

みなさんのお越しを待ちます。



エコミューズスタッフの林（右）と鎗山（左）です。

資料の楽しさを伝えます。

ありがとうございます

ハモン基金

展示パネル作成へラストスパート！

2007年12月、活動資金「ハモン基金」を設置し、みなさまにご協力をお願いかけましたところ、多くの方々からご寄付を頂戴いたしました。本当にありがとうございます。エコミューズを応援して下さるみなさまのお気持ちがひしひしと伝わってきました。気を引き締めてまいりたいと思います。



振込用紙付きのチラシです

今回は、ぜひとも西淀川公害の展示パネルを作成したいと、目標金額50万円を設定しました。目標額まであともう少しです。どうぞ引き続きご協力をよろしくお願いいたします。ハモン基金への寄付の方法は裏面の記載をご覧ください。お待ちしております。

日本全国、海外からも来館者 フィールドワークにおこしください



JICA研修生のみなさん

西淀川から学ぼうと、世界から、日本から、研究者や高校生、政府関係者などが続々と来館しました。

ボリビア、ボツワナ、中国、インド、メキシコ、ペルー、チュニジアの各国からJICA(独立行政法人国際協

力機構)研修生が来所しました(07.12.11)。皆さんは、各国の環境省で公害を担当されている方で、公害患者から体験談を聞き、涙ぐむ場面もありました。

韓国の国土交通省研究プロジェクト「都市再生・地域再生」研究チームからは、フィールドワークで「なぜ移転しないのか？」という



質問が出ました(08.1.9)。私たち熱心に写真を見る高校生たちは汚染源対策をしようとしています。韓国では住民移転で解決しようという考え方の違いが見えてきました。国際交流の面白いところです。

世界各国の政府関係者だけではなく、日本の環境省も西淀川で研修しました(07.12.7)。「業務上、紙の上で判断してしまいがちですが、紙の裏には患者さんがいることが実感できました。」といううれしい言葉をもらいました。

最後に松原高校の1年生の感想から「エコというのはたぶん1人が考えたぐらいじゃ解決しない問題だと思います。でも、放っておくわけにはいかない問題でもあり、自分1人がやっても、まわりがやらなければ意味がないとひねくれるのではなく、「自分だけでも」というくらいの気持ちで物事を見直すのが大切だと思います。エコは協力することの大切さを考えなければならぬ課題だと思いました」(07.11.21)。体で感じたことは忘れることなく、その人の中に残っていくと思います。エコミューズで実感したことが人生の中でよきものとなることを願っています。

あおぞら財団 視察受入案内サイト
<http://www.aozora.or.jp/ukeire.htm>
2時間 10,000円(要相談)

お気軽にご相談ください

所蔵資料紹介

15 ビデオライブラリー

未来のために 「語り部」ライブラリー

エコミューズの自慢はいくつかありますが、今回みなさんに紹介したいのは「ビデオライブラリー」です。公害環境教育で使えるDVDはもちろん、西淀川公害に関するテレビ報道の番組、水俣病・



塚口さんのビデオ

イタイイタイ病・水島や尼崎、四日市の大気汚染など、各地の公害に関する映像、西淀川を舞台とした映画など、様々な映

像が200本以上集まっています。

なかでも一押しなのが『大気汚染公害被害の「語り部」ライブラリー』。これはエコミューズにしかない10本のDVDで、西淀川公害の被害者11名に聞き取りしてあおぞら財団が作成しました。20分程度の映像ですが、患者さんの人生と公害病の苦しみが詰まっています。例えば塚口アキエさんの映像では、夫の役松さんが喘息発作でなくなった朝のことが自宅で淡々と語られます。なかなか朝起きてこないお父さんと呼びに行くと…と当時、目の前で起きたこ

とが浮かびます。

大正11年生まれの塚口さんはいつも元気なおばあちゃんであうと元気をもらいます。1本筋が通った強さは公害被害を乗り越えて培われてきたものだと思えます。

公害の被害はあまり人に話したくないものです。それを「未来のために」と勇気をふりしぼって話してくれた映像です。(林)



ずらりと並んだビデオライブラリー



こんにちは新着図書です

石川聡子『プラットフォーム環境教育』東信堂、2007年



環境教育の理論と実践をつなぐ部分の提示を試みたテキストです。第5章「地域の環境再生と環境診断マップづくり」(片岡法子著)には、せいわエコクラブとあおぞら財団がともに起こった環境診断マップづくりについて紹介されています。「私自身」が地域の担い手であることの気づきの大切さを教えてください。

『大阪人』第61巻12号、(財)大阪市都市工学情報センター、2007年



特集テーマは「西淀川萌え」。あおぞら財団事務所からすぐ近くの「スモカ歯磨」、野里の「池永家」住宅、佃の田蓑神社、淀川のシジミなどなど、西淀川区で馴染みのスポットがたくさん取り上げられています。さすが、ものづくりの街だけあって、先端技術を扱う町工場もたっぷり紹介されています。

これらの図書はエコミューズにて閲覧、貸出をしています。みなさまからの図書のご寄贈お待ちしております。

西淀川 私の発見☆まめ情報

「鼻守」

今年の初詣は鼻川神社(西淀川区花川)でした。そこで見つけたのが「鼻守」という名の守りです。鼻炎に御利益があるとのこと、花粉症の私にはぴったり。なんととっても気に入ったのはお守りについている「鼻型」。こんなもの見たことありません。鼻川神社ならではの！名前の由来はもともと淀川(旧中津川)河口部の三角州にあり、その地形が鼻の形に似ていたからとか。(Y)

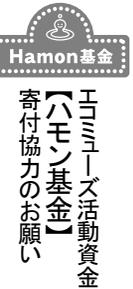


資料館だより No.16
2008年1月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属
西淀川・公害と環境資料館
(エコミューズ)

連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル5F(〒555-0013)
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
http://www.aozora.or.jp/shiryou/

お知らせ



●ハモン基金とは
エコミューズの活動を継続的かつ発展的にすすめていくための活動資金です。西淀川公害に関する展示物やガイドブックの作成、企画展の開催、資料の収集と整理、資料の保存や閲覧環境の整備のために使います。一人ひとりの気持ちに波紋のように広がることを願って…

エコミューズを支えてください。あなたの寄付金は青空へとつながります。

●寄付の方法
郵便局からお振込いただけます。また、直接エコミューズにお越しいただいても結構です。

【口座】十万円／一万円／千円
【口座番号】
009600191
124893

【加入者名】あおぞら財団
※通信欄に「ハモン基金」の寄付とご記入ください。一口の金額はお選びください。

寄付者のお名前は報告書やホームページ等に記載させていただきます。ご都合の悪い方はその旨ご連絡ください。

ボランティア隊
「エコミューズ★」募集
あなたも「エコミューズ★」に入っちゃおう！資料整理や展示、イベントの手伝いなど、活躍の場がいろいろあります。交通費●実費支給(上限1000円)
どうぞお気軽にお問い合わせください。



エコミューズは 青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください

開館 ●月曜日、金曜日(祝日は休み)
10:00AM~5:00PM [要予約]

利用 ●図書の貸し出し期限は2週間
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ